



平成22年5月20日

会社名 株式会社テクノマセマティカル
(コード 3787:マザーズ)
住 所 東京都品川区北品川四丁目7番35号
代表者 代表取締役社長 田 中 正文
問合先 担当者 経営企画部 中 山
電 話 番 号 03-5798-3636

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時 平成22年5月20日 15:00～16:00

開催方法 対面による実開催

開催場所 東京証券会館

東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

説明会資料名 株式会社テクノマセマティカル 平成22年3月期<第10期> 決算説明会

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

株式会社テクノマセマティカル

平成22年3月期＜第10期＞

決 算 説 明 会

■ Algorithm Specialist

TMC

平成22年5月20日

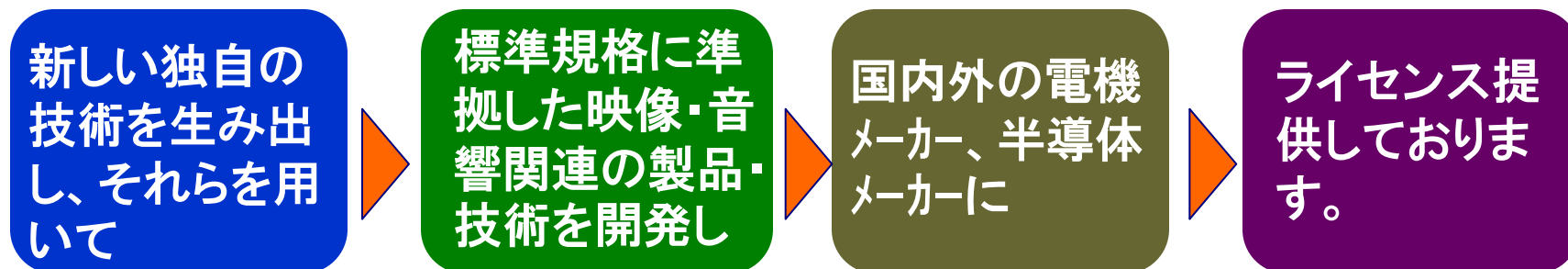
Agenda

1. 事業概要
2. 前期決算と今期予想
3. 売上内訳
4. B/S、C/F
5. H23/3期
6. Next 2011 中期事業計画について

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について



- ①高圧縮率、
- ②高画質、
- ③低消費電力、
- ④**低遅延**

が実現できるデータ圧縮技術を開発、提供し続けます。

1-2 当社事業の特徴

1. 独自技術により、差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス・ロイヤルティモデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像／音響製品

4. 業容拡大による収益力の向上

売上・利益の絶対額増加、3本柱の確立

2-1 損益計算書推移

(単位:百万円、%)

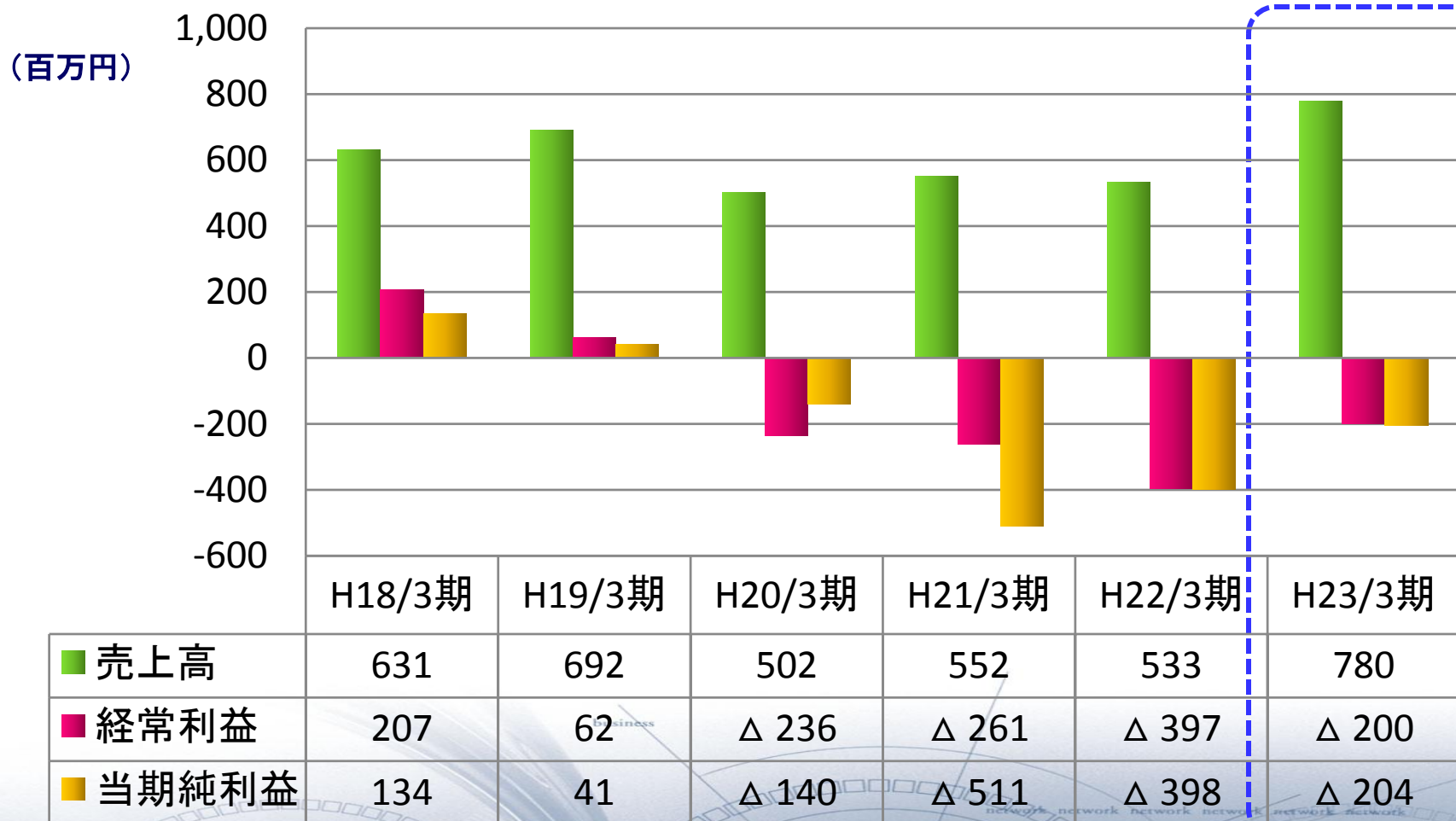
	H21/3期(実績)			H22/3期(実績)			H23/3期(予想)		
	金 額	構成比	前期比 増減額	金 額	構成比	前期比 増減額	金 額	構成比	前期比 増減額
売 上 高	552	100.0	55	533	100.0	△ 19	780	100.0	247
売上総利益	297	53.8	1	408	76.5	111	620	79.5	212
販売管理費	573	103.8	29	816	153.1	243	830	106.4	14
営業利益	△ 276	△ 50.0	△ 29	△ 407	△ 76.4	△ 131	△ 209	△ 26.8	198
経常利益	△ 261	△ 47.3	△ 25	△ 397	△ 74.5	△ 136	△ 200	△ 25.6	197
当期純利益	△ 511	△ 92.6	△ 371	△ 398	△ 74.7	113	△ 204	△ 26.2	194

2-2 業績の推移

前期要因 ◆ 売上高 微減 コスト増により 経常減益幅 前期比悪化

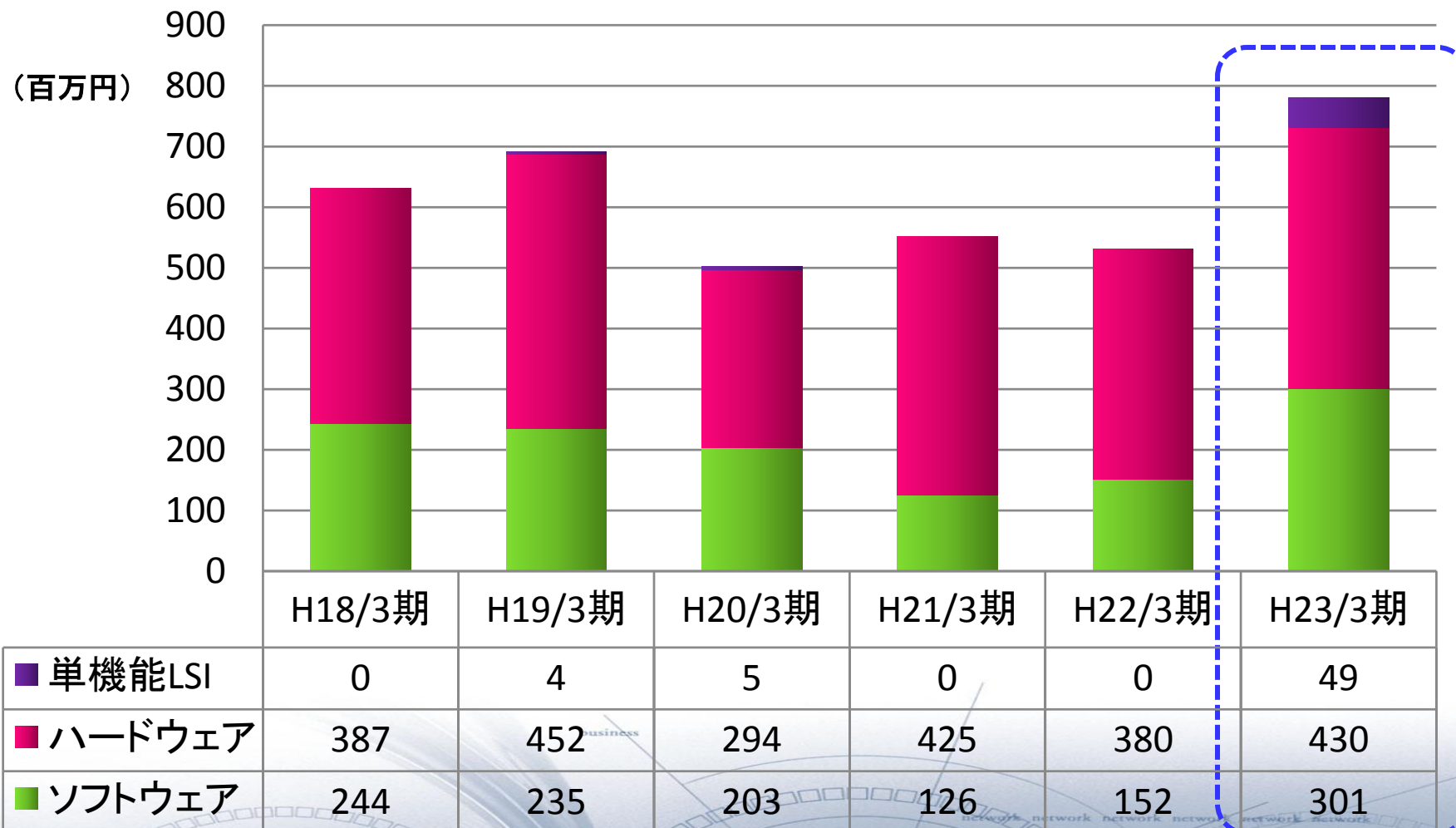
◆ 神戸テクノロジーセンターとのシナジー効果実現が遅れた

今期予想



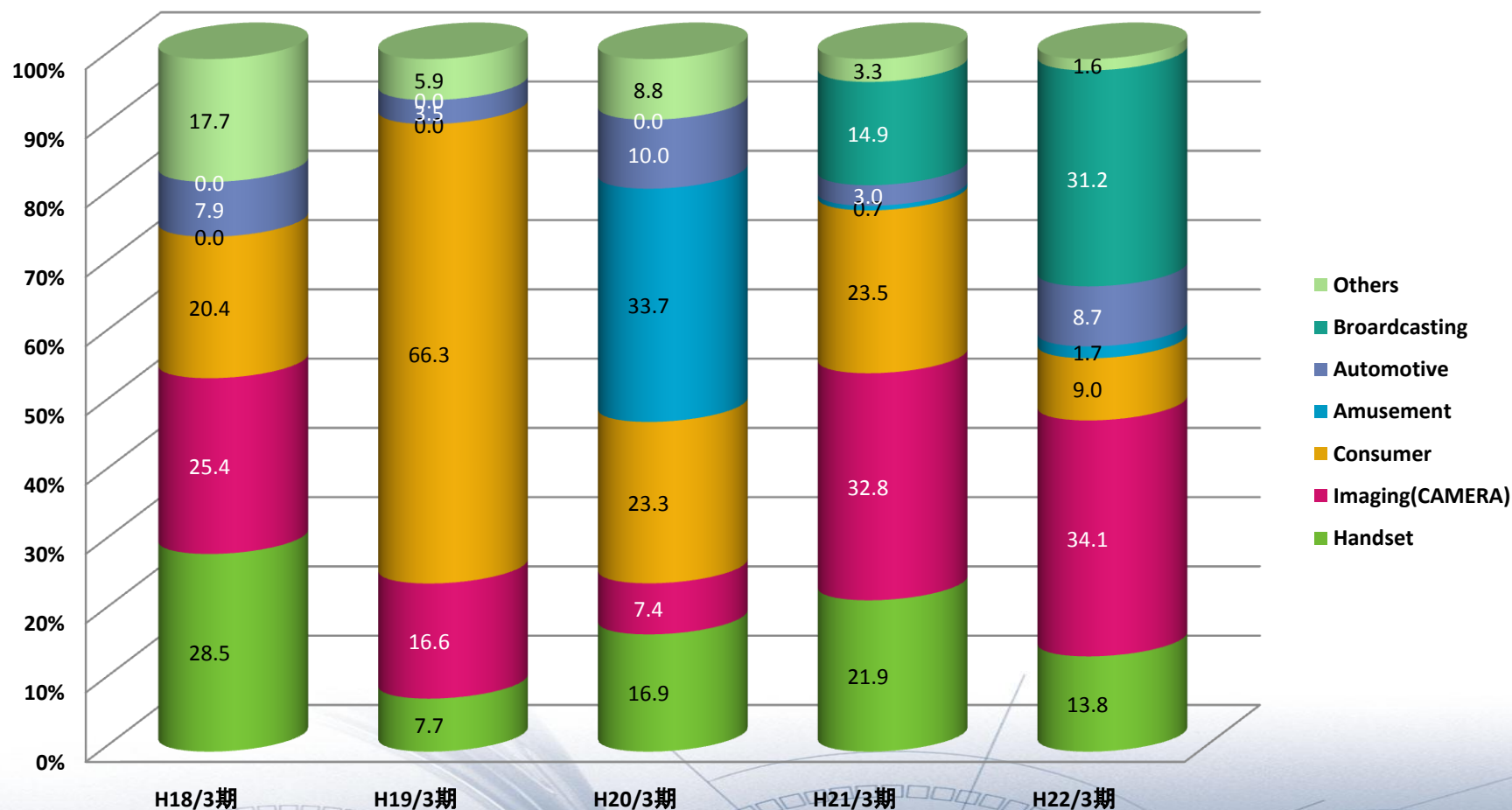
3-1 売上の内訳(事業区分別)推移

- 前期 ◆ソフトウェアは前期比持ち直す・・・車載向け、アミューズメント向けに試作評価進む
 ◆ハードウェアは前期比やや減少・・・大型案件とランニング・ロイヤリティで下支え



3-2 売上の内訳(対象市場別)推移

- 前期
- ◆カメラ関連は堅調、自動車関連も持ち直し傾向
 - ◆動画配信システム関連が大型案件獲得で構成比増大



4-1 貸借対照表 (平成22年3月31日)

(単位:百万円)	2010/3末	構成比	対前期末比 増減	2009/3末
流動資産	3,267	95.0%	▲393	3,661
固定資産	168	4.9%	▲41	210
資産合計	3,436	100.0%	▲434	3,871
流動負債	91	2.6%	▲56	147
固定負債	—	—	—	—
純資産	3,345	97.3%	▲378	3,723

4-2 キャッシュ・フロー計算書推移

(単位:百万円)	H22/3期 第2四半期	当 期 (H22/3期)	対前期比 増減	前 期 (H21/3期)
営業活動による キャッシュ・フロー	△281	△286	△ 200	△86
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,018	△2,723	△ 2,630	△93
財務活動による キャッシュ・フロー	—	20	8	12
現金及び現金同等 物の増減額	△3,299	△2,989	△ 2,822	△167
現金及び現金同等 物の期首残高	3,350	3,350	△167	3,517
現金及び現金同等 物の期末残高	50	361	△2,989	3,350

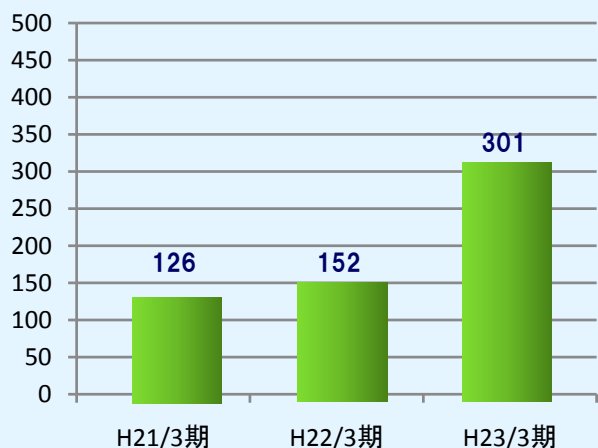
売上債権の減少による

3ヶ月超定期預金への
振り替えによる減少

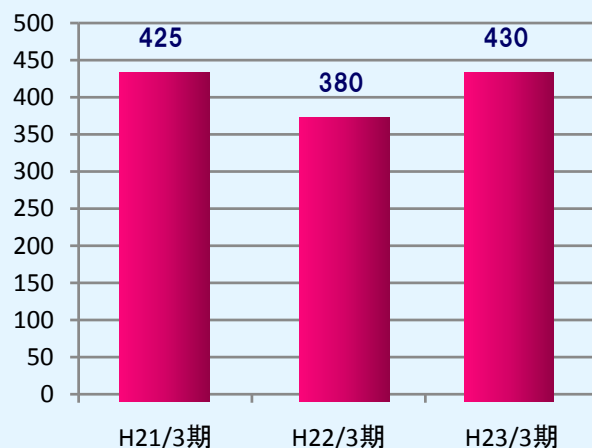
5-1 事業区分別売上予想

＜売上高＞（単位：百万円、H21/3期、H22/3期は実績、H23/3期は予想）

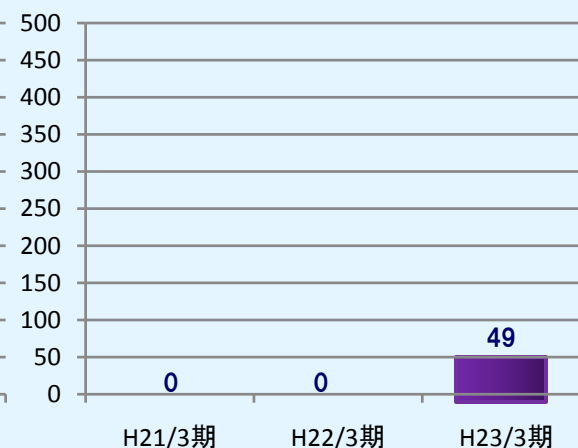
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



LSI事業



予想基礎

- ・ワンセグ、カメラ（監視カメラ含む）関連でビデオ関連は底堅い需要見込む
- ・オーディオ、ボイス関連も携帯電話、アミューズメント向けに伸び見込む

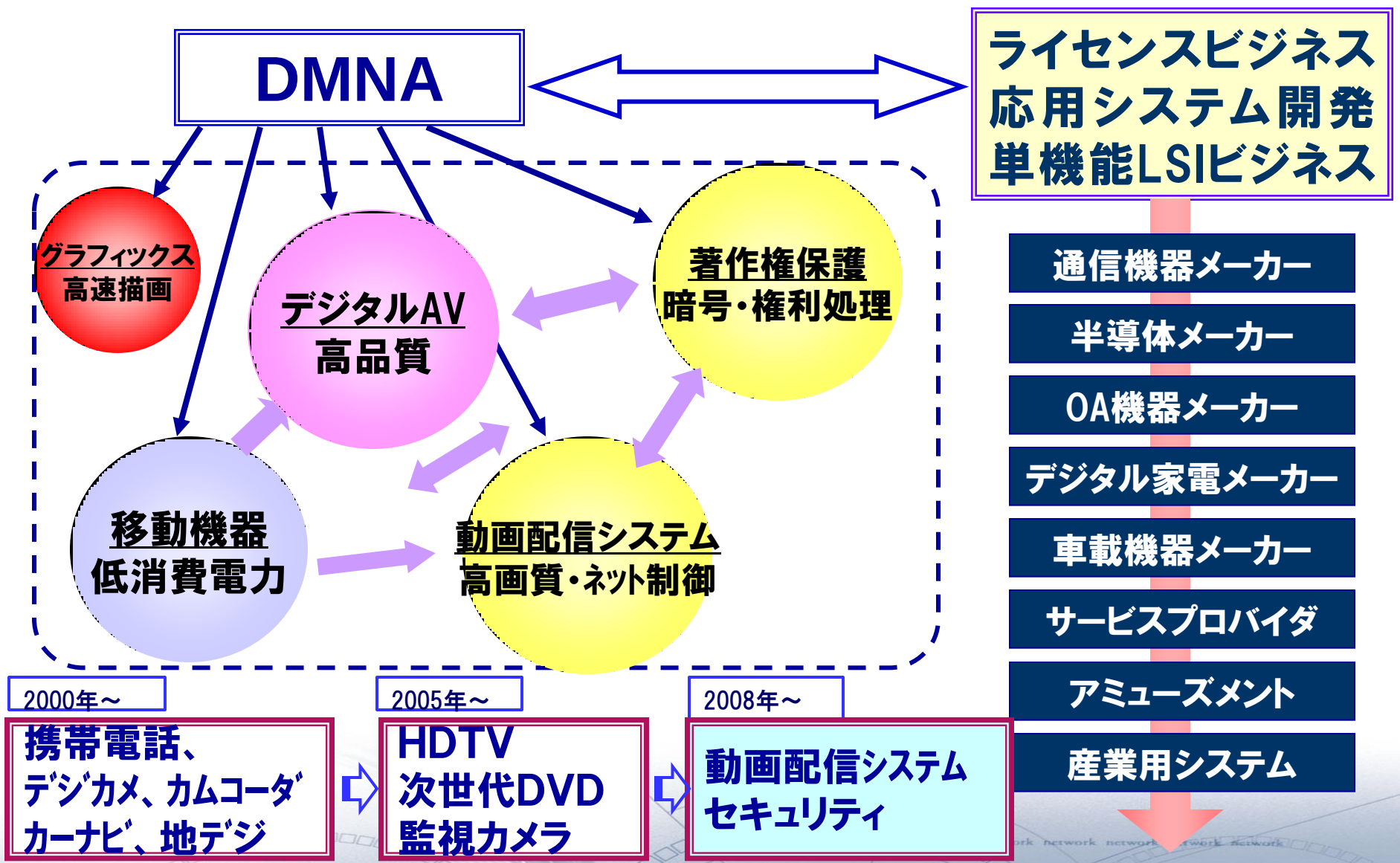
- ・デジカメ、画像配信システム関連で堅調な需要を見込む
- ・HD対応案件のニーズは堅調。実需の開花期

- ・LSI事業の基盤再構築中
- ・超解像スケーラLSIで顧客層の拡大を目指す
- ・H.264LSIは監視カメラ向けを中心に販売強化

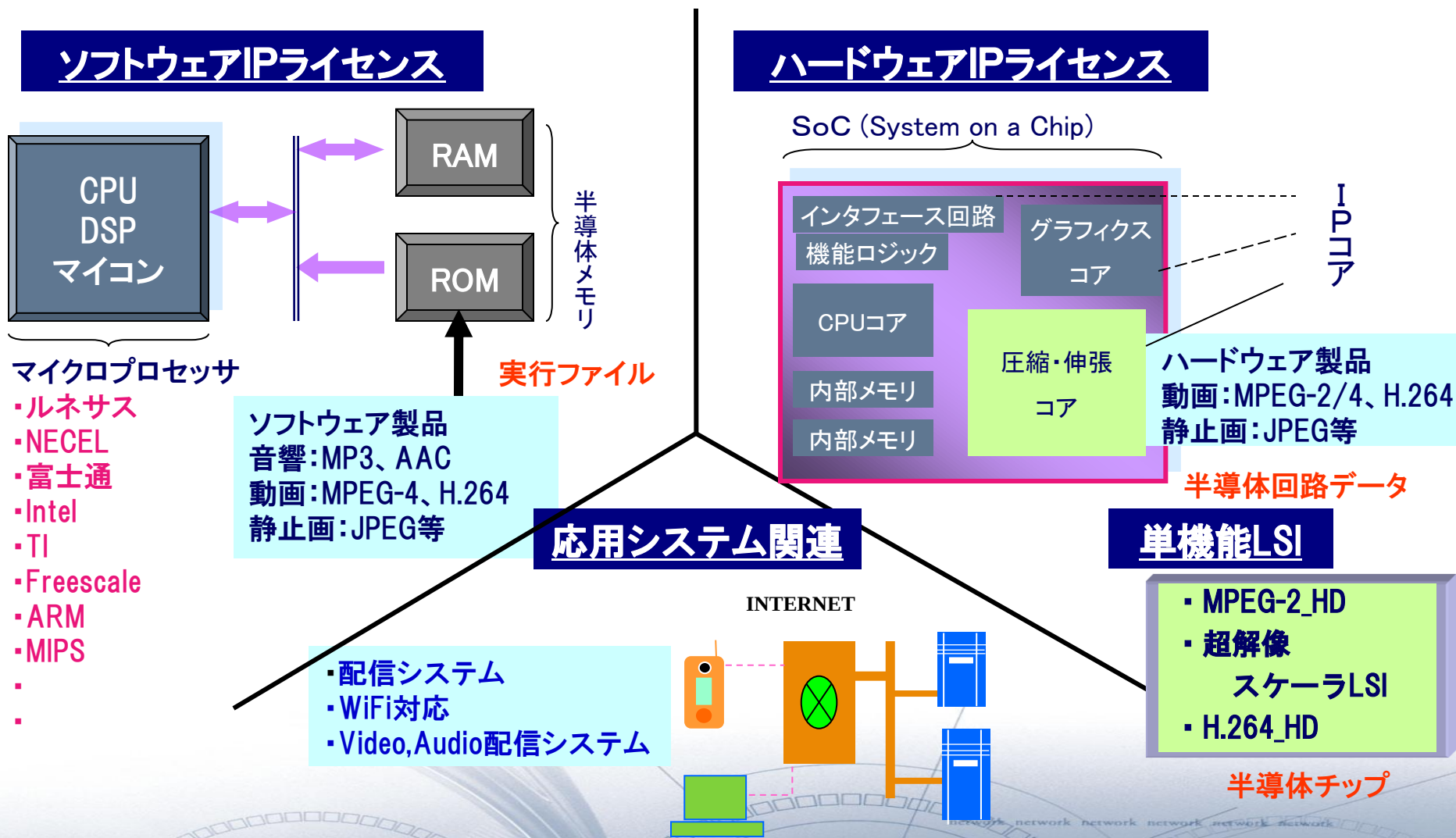
5-2 平成23年3月期における課題

- 1. 販売力・営業予算管理の強化**
- 2. 既存技術の見直しと新規開発**
- 3. 応用システム事業・単機能LSI/FPGA事業の本格的立ち上げ**
- 4. 事業統合によるシナジー効果の早期実現**

6-1 ビジネス展開



6-2 製品形態



アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-5798-3636 E-mail:ir@tmath.co.jp